

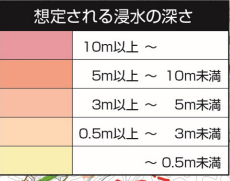
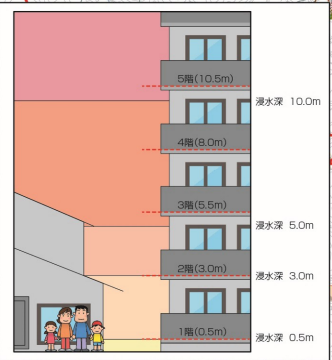
# 豊田市洪水ハザードマップ

## 美里 益富 中学校区

**命を守る行動をとろう！**  
**想定される最大の浸水状況**  
 1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨



**注意事項**  
 マップに示した浸水の予想される深さや範囲は、計算結果によるものであり、雨の降り方によっては浸水の想定されない地域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さとは異なる場合があります。  
 このマップは、洪水浸水想定区域図、内水浸水想定区域図、ため池ハザードマップなどの情報に基づいて作成されています。  
 ・国「河川管理河川からの浸水は、各河川管理者が『洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）』（平成27年7月）に基づき算出を行っています。  
 ・一部の豊田市管理河川からの浸水については、『小規模河川の浸水想定区域図の手引き』（令和2年6月）に記載されている土壌研究所PMFモデルを用いて解析を行っています。  
 ・内水浸水により想定される浸水深は、20cm以上を明示しています。  
 ・ため池からの浸水は、満水のため池が決壊した際の影響範囲を明示しています。  
 ・浸水実績（平成12年東海豪雨）の区域は、当時の観測データより作成したものを明示しています。このマップは、土壌研究所PMFモデルを用いた上で、最新結果を採用しているため、浸水実績（平成12年東海豪雨）が浸水想定区域内に含まれていない場合があります。  
 ・土砂災害警戒区域等は令和2年12月8日現在の内容です。  
 ・事後の基礎調査によって土砂災害警戒区域等の数及び範囲に変更が生じる場合があります。  
 ・一時避難場所・一時車両避難場所は、市内全域を対象とし、一時的に利用できる施設です。



### 凡例

- 家屋倒壊等浸水想定区域(河岸浸食)\*
- 家屋倒壊等浸水想定区域(汎溺)\*
- 浸水実績(H12東海豪雨)
- 土砂災害特別警戒区域\*
- 土砂災害警戒区域\*
- 土砂災害危険箇所
- 緊急輸送道路等
- 道路(国道・県道)
- 中学校区
- 市町村界
- 風水害時の指定緊急避難場所
- 一時避難場所
- 一時車両避難場所
- 官公庁・消防署・警察署
- 河川監視カメラ
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 地下施設
- アンダーパス
- 要配慮者利用施設

### 一時避難場所 (協定施設)

番号	名称
1	豊田高等(第二体育館) ※駐車場は利用できません。
2	中央大学
3	愛知工業大学
4	愛知学泉大学
5	ZENT大清水店(駐車場)
6	ZENT豊田本店(駐車場)
7	ZENT若林店(駐車場)

大規模な災害が想定され市から発表があった場合に限り、一時的に利用できる施設です。避難時は各自で必要なものをご持参ください。

### 一時車両避難場所 (公共施設)

番号	名称
8	市民文化会館
9	昆虫公園(駐車場)
10	西山公園(駐車場)
11	新生公園(駐車場)
12	鞍ヶ池緑地(駐車場)
13	猿投公園(駐車場)
14	土橋公園(駐車場)
15	井上公園(駐車場)
16	丸山公園(駐車場)
17	石野運動広場(駐車場)

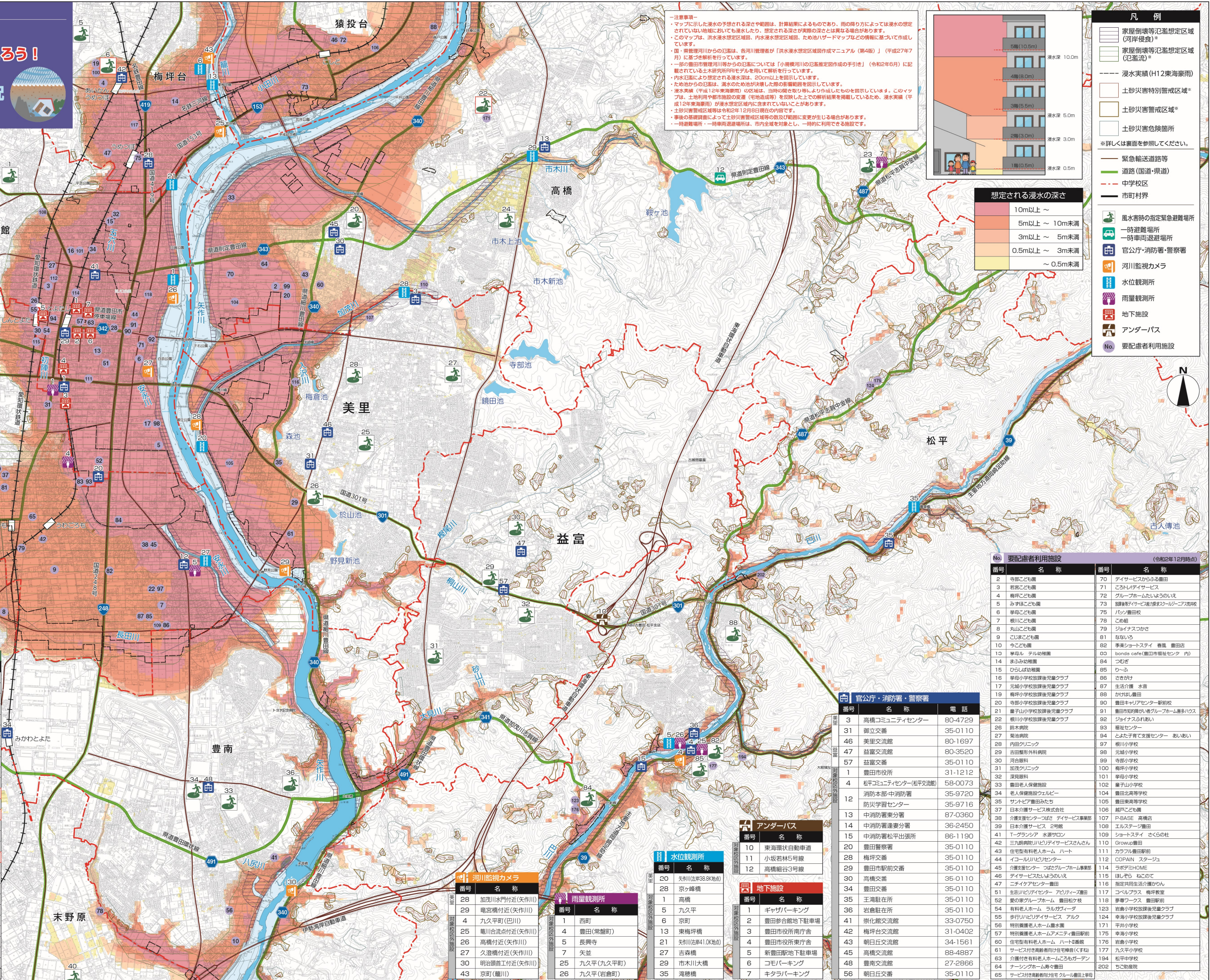
大規模な災害が想定され市から発表があった場合に限り、一時的に駐車できる施設です。避難時は各自で必要なものをご持参ください。

### 風水害時の指定緊急避難場所

番号	名称	電話	避難スペース
25	美里中学校	89-1731	体育館
26	野見小学校	80-0372	体育館
27	東山小学校	80-7581	体育館
28	広川小学校	80-2801	体育館
29	益富中学校	80-4161	体育館
30	古瀬小学校	80-0593	体育館
31	五ヶ丘小学校	80-5533	体育館
32	五ヶ丘東小学校	80-9211	体育館
1	崇化館中学校	31-0197	体育館
4	朝日小学校	31-4880	体育館
5	梅坪中学校	31-2131	体育館
6	梅坪小学校	31-4882	校舎③(浸水)
11	朝日中学校	32-0198	体育館
12	童子山小学校	32-0196	校舎③(浸水)
14	衣丘小学校	34-2030	体育館
15	豊田西高等学校	31-0313	体育館
20	高橋中学校	80-0412	体育館
22	平井小学校	80-3011	北校舎、南校舎②(土砂)
23	矢並小学校	88-3100	体育館
24	市木小学校	80-0385	体育館
33	豊南中学校	28-0947	体育館
34	前山小学校	28-0192	体育館
36	平和小学校	29-3833	体育館
40	豊野高等学校	28-8800	体育館
82	松平こども園	58-0070	体育室
84	岩倉小学校	58-0119	体育館
85	九久平小学校	58-0027	体育館
88	松平高等学校	58-1144	体育館

○内の数字は階数を示し、その階数以上の階へ避難することを示しています。

(令和3年3月 作成) 測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs 466



### 河川監視カメラ

番号	名称
28	加茂川水門付近(矢作川)
29	竜宮橋付近(矢作川)
4	九久平(巴川)
25	龍川合流点付近(矢作川)
26	高橋付近(矢作川)
27	久瀬橋付近(矢作川)
30	明治橋付近(矢作川)
43	京町(龍川)

### 雨量観測所

番号	名称
1	西町
4	豊田(常盤町)
5	長興寺
7	矢並
25	九久平(九久平町)
26	九久平(岩倉町)

### 水位観測所

番号	名称
20	矢川(注記38.8K地点)
28	京ヶ峰橋
5	九久平
6	京町
13	東梅坪橋
21	矢川(注記41.0K地点)
27	吉森橋
29	市木川大橋
35	滝穂橋

### アンダーパス

番号	名称
1	キャザバキング
2	豊田参合館地下駐車場
3	豊田市役所南庁舎
4	豊田市役所東庁舎
5	新豊田駅前地下駐車場
6	コモバキング
7	キラバキング

### 官公庁・消防署・警察署

番号	名称	電話
3	高橋コミュニティセンター	80-4729
31	御立交番	35-0110
46	美里交流館	80-1697
47	益富交流館	80-3520
57	益富交番	35-0110
1	豊田市役所	31-1212
4	松平コミュニティセンター(松平交流館)	58-0073
12	消防本部中消防署	35-9720
13	消防署センターベース	35-9716
14	中消防署東分署	87-0360
15	中消防署西分署	36-2450
1	消防署松平出張所	86-1190
20	豊田警察署	35-0110
28	梅坪交番	35-0110
29	豊田市駅前交番	35-0110
30	高橋交番	35-0110
34	豊田交番	35-0110
35	王滝駐在所	35-0110
36	岩倉駐在所	35-0110
41	崇化館交流館	33-0750
42	特別養護老人ホームアメニティ豊田駅前	31-0402
43	朝日交流館	34-1561
45	高橋交流館	88-4887
48	豊南交流館	27-2866
56	朝日交番	35-0110

### 要配慮者利用施設 (令和2年12月時点)

番号	名称	番号	名称
2	寺宮こども園	70	デイサービスからふる豊田
3	若宮こども園	71	こころデイサービス
4	梅坪こども園	72	グループホームたいしやうのいえ
5	みずほこども園	73	グループホームたいしやうのいえ
6	学野こども園	75	パルコ豊田校
7	根川こども園	78	こめ組
8	丸山こども園	79	ジョイナイツ
9	こじまこども園	81	なないろ
10	今こども園	82	四季シャトーステイ 豊原 豊田店
13	学野 テルメ館	03	bonds cafe(豊田市福祉センター 内)
14	まふみ幼稚園	84	つむぎ
15	ひらひら幼稚園	85	りーふ
16	学野小学校放課後児童クラブ	86	さきかけ
17	元城小学校放課後児童クラブ	87	生活介護 水音
19	梅坪小学校放課後児童クラブ	88	かほし豊田
20	寺部小学校放課後児童クラブ	90	豊田キャリアセンター駅前校
21	童子山小学校放課後児童クラブ	91	豊田市生涯学習センターグループホーム豊田ハリス
22	根川小学校放課後児童クラブ	92	ジョイナイツあいち
26	鈴木病院	93	福祉センター
27	菊池病院	94	とよた子育て支援センター あいち
28	内田クリニック	97	豊田小学校
29	吉田整形外科	98	元城小学校
30	河合病院	99	寺部小学校
31	加茂クリニック	100	梅坪小学校
32	深淵眼科	101	学野小学校
4	松平コミュニティセンター(松平交流館)	102	童子山小学校
33	老人保健施設コルビー	104	豊田北高等学校
12	消防本部中消防署	105	豊田南高等学校
13	消防署センターベース	106	梅坪こども園
14	中消防署東分署	107	P-BASE 高橋店
15	中消防署西分署	108	エルステージ豊田
1	消防署松平出張所	109	ショータイム さくら荘
20	豊田警察署	110	GrowUp豊田
28	梅坪交番	111	カラフル豊田駅前
29	豊田市駅前交番	112	COPAIN スタージュ
30	高橋交番	114	ラビエム
34	豊田交番	115	ほしぞら ねのて
35	王滝駐在所	116	指定生活介護かりん
36	岩倉駐在所	117	コルブラス 梅坪駅前
41	崇化館交流館	118	夢ラクス 豊田駅前
42	特別養護老人ホームアメニティ豊田駅前	123	豊田小学校放課後児童クラブ
43	朝日交流館	124	豊田小学校放課後児童クラブ
45	高橋交流館	175	平井小学校
48	豊南交流館	176	岩倉小学校
56	朝日交番	177	九久平小学校
		194	松平中学校
		202	巧心幼稚園
		65	サービス付き高齢者向け住宅 クール豊田上野町



# 災害から命を守るのは まず、あなた自身です



**【ハザードマップとは】**  
豊田市洪水ハザードマップは、大雨による被害から皆さんが避難する際の参考となる情報をまとめたものです。このマップには、矢作川をはじめとした市内の主要な河川が大雨により氾濫した場合に浸水が想定される区域や深さ、土砂災害の危険箇所、避難場所などを表示しています。

### 1 災害リスクを知ろう

まずは、自分の住んでいる地域の災害リスク(被害想定)を把握しましょう。

河川の氾濫によって予想される浸水の範囲と深さのほか、指定緊急避難場所などの情報が記載されています。想定最大規模降雨(1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨)での被害想定になります。

1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨：1,000年毎に1回発生する周期的な大雨ではなく、1年間という期間でみた場合、毎年1/1,000(0.1%)程度の確率で発生する規模の大雨のことです。発生率は低いです。今年や来年に発生する可能性もあります。何より、ひとたび発生するときは大規模な大雨となるため、いざという時に命を守る行動をとれるように日頃から十分な備えが必要です。

**詳しくはこちらのWebで・・・**  
洪水ハザードマップに関する様々な情報とまとめています。  
●洪水ハザードマップデータ(PDF) ●とよかマップ(防災マップ)\*  
●河川氾濫等の解析条件 ●リアルタイム防災情報 など

とよかマップ(防災マップ)\*: Web上の地図に様々な災害リスクを重ねて表示できる地図情報サービスです。自由に拡大・縮小ができるため、自宅付近の災害リスクをより詳細に確認することができます。

### 2 避難先と避難経路を確認しよう

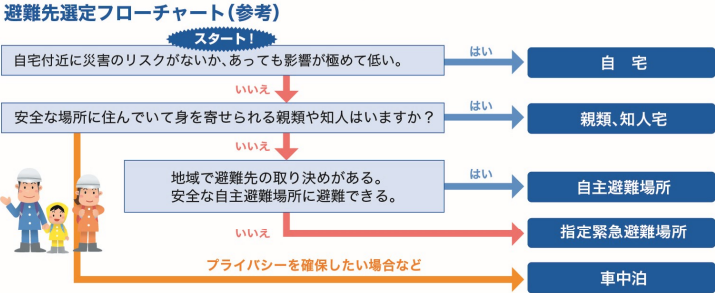
緊急時にあわてず無事に避難するには、事前の準備と確認が必要です。

#### 避難行動について知ろう

<b>水平避難(立退き避難)</b> 浸水、家屋倒壊・流失、土砂災害の危険区域から離れ、安全な場所へ避難します。  <small>離れた場所への移動のため、避難に一定の時間が必要です。事前に安全な避難経路や移動手段を確認し、余裕を持って避難を開始しましょう。</small>	<b>垂直避難(上階等移動)</b> 安全な場所へ水平避難する時間がない場合や逃げ遅れた場合は、命を守るために、自宅の2階や近所の頑丈な建物のなるべく高い階など危険が及ばない場所に避難します。  <small>あくまで命を守るための行動であり、浸水が長時間継続した場合や危険区域内に立止した場合の問題点も考えましょう。豊田市には浸水が1週間続く箇所もあります。</small>	<b>屋内安全確保(在宅避難)</b> 浸水、家屋倒壊・流失、土砂災害の危険がない場所または影響が少ない場所で、屋外に避難する方がかえって危険と判断される場合は、自宅などに留まり、安全を確保します。  <small>電気・水道・ガスの停止に備えた準備や食料、水、常備薬などの用意を日頃からしておきましょう。</small>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**避難先を考えよう**・表面のマップにアイコン表示がある避難先は「指定緊急避難場所」と「一時避難場所(一時車両避難場所)」です。  
・避難先はこの2つである必要はありません。下で紹介する施設等を参考に、自身や自宅の状況に応じて最適な避難先を考えておきましょう。

<b>指定緊急避難場所</b> 災害の危険から身を守るために緊急的な避難先として市が指定している施設です。風水害時に使用できない緊急避難場所もあります。	<b>車中泊</b> 安全な場所に停めた車中での避難です。プライバシー確保に有効ですが、エコノミークラス設備付客室や体積等に注意が必要です。指定緊急避難場所駐車場のほか、一時的に開設される一時避難場所や一時車両避難場所を活用しましょう。
<b>自宅</b> 屋外に避難する方がかえって危険な場合があるため、屋内で身の安全を確保する在宅避難も考えましょう。危険を感じたら自宅の2階へ垂直避難するなど身を守りましょう。	<b>自主避難場所</b> 自治体が指定する避難場所です。指定緊急避難場所が開設されるまでの待機場所や住民の避難所など地域によって特徴の有無や取扱いが異なります。
<b>親類・知人宅</b> 安全な場所に身を寄せられる親類や知人がいれば、避難先として活用を考えましょう。日頃から避難について相談しておきましょう。	<b>緊急退避場所(最後に命を守る場所)</b> 逃げ遅れた場合などに、命を守るための緊急的に安全を確保する場所です。すぐに移動できる少しでも安全な場所を、あらかじめ緊急退避場所として決めておきましょう。

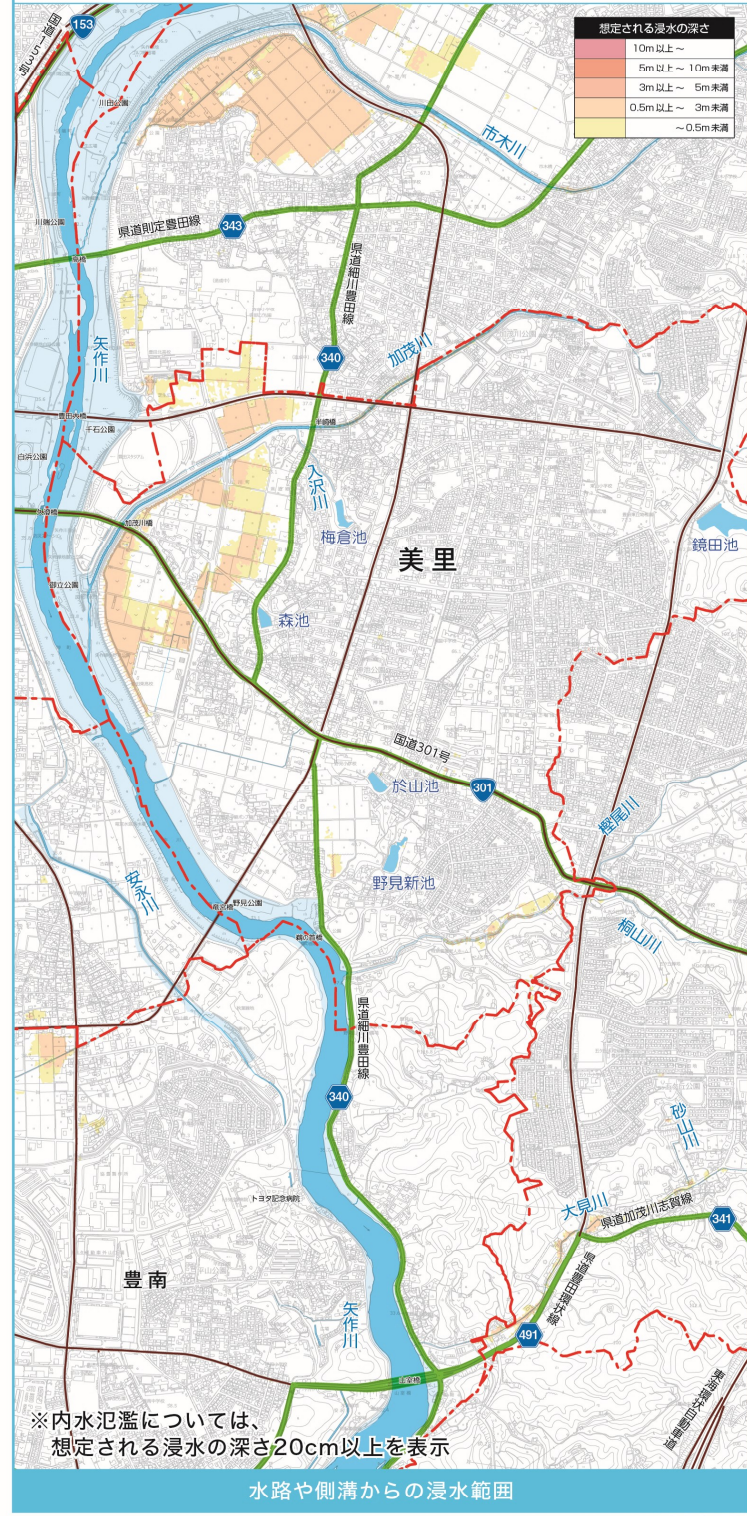


## 雨が激しく・長くなるほど、発生する洪水の規模が大きくなります。

### ① 大雨の初期・浸水の発生 (激しい雨が降り続く)

10年に1回の確率で発生する規模の大雨

**【浸水状況】**  
身近な道路の水路や側溝などから水があふれるものの、浸水はまだ浅い。



### 大雨が降った時に生じる災害リスク

#### 河川氾濫による浸水

河川の水位が上昇し、堤防から水があふれたり、堤防が崩れたりすると、家屋、道路、農地などが水につかります。大雨の規模によっては、ビルの5階以上が水につかる箇所も出てきます。

#### 家屋倒壊等氾濫想定区域

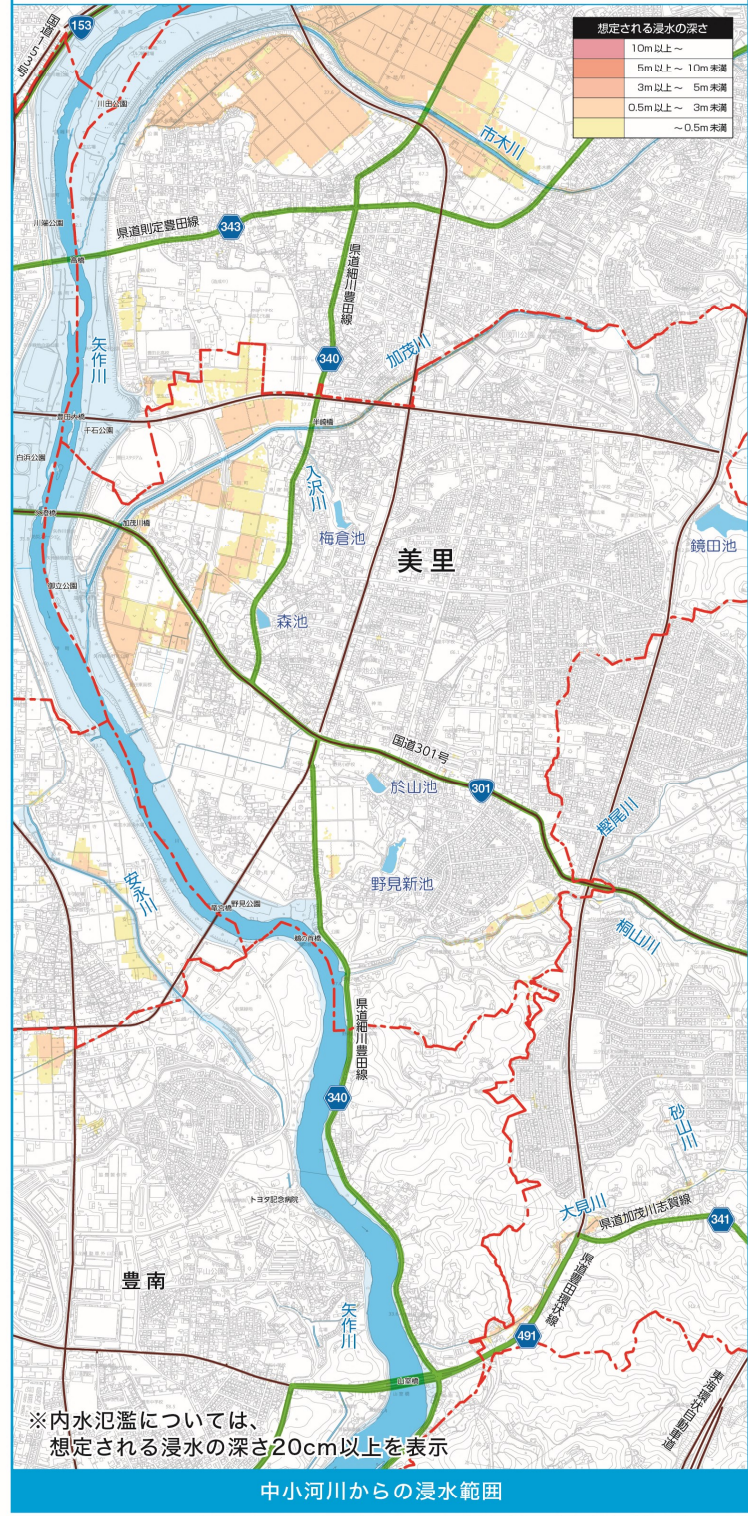
大規模な洪水が発生した場合、家屋が倒壊もしくは流失する危険がある区域です。水平避難が必要であり、垂直避難を避けるべき区域です。家屋が倒壊する原因は、堤防が決壊した場合に発生する激しい氾濫流や河川の流れによって護岸や堤防と共に侵食される河岸侵食などを想定しています。

台風や豪雨によって引き起こされる洪水は、「雨の強さ」や「あふれる場所」(大河川、中小河川、水路など)によって、あなたの自宅に被害を与えるのか、また、どれくらいの被害となるかが異なります。例えば、①激しい雨が続く場合には、水路や側溝から水があふれることがあります。さらに、②非常に激しい雨が続く場合には、中小河川(加茂川などの河川)からも水があふれることがあります。さらに、③猛烈な雨が降り続く場合には、大河川(矢作川)から水があふれることがあります。

### ② 雨が強くなる・浸水の広がり (非常に激しい雨が降り続く)

30~50年に1回の確率で発生する規模の大雨

**【浸水状況】**  
矢作川の支川(加茂川)の水位が上がり、堤防から水があふれるなど、浸水する範囲も広がり、深さも増していく。



#### 内水氾濫による浸水

水路やマンホールから水があふれたり、低い土地では水が溜まったままになります。通常、まちに降った雨は、水路や側溝などを通して河川に排水されますが、大雨が降ると、河川水位が上がり、水路から河川に排水されにくくなります。河川の水位が下がらないと、浸水が長時間続く箇所も出てきます。

#### ため池の決壊

ため池は、利水目的(農業等に使用)以外に、大雨の時に水を一時的に貯める機能を持っています。ため池が決壊した場合は、ため池の下流側で浸水が発生する可能性があります。

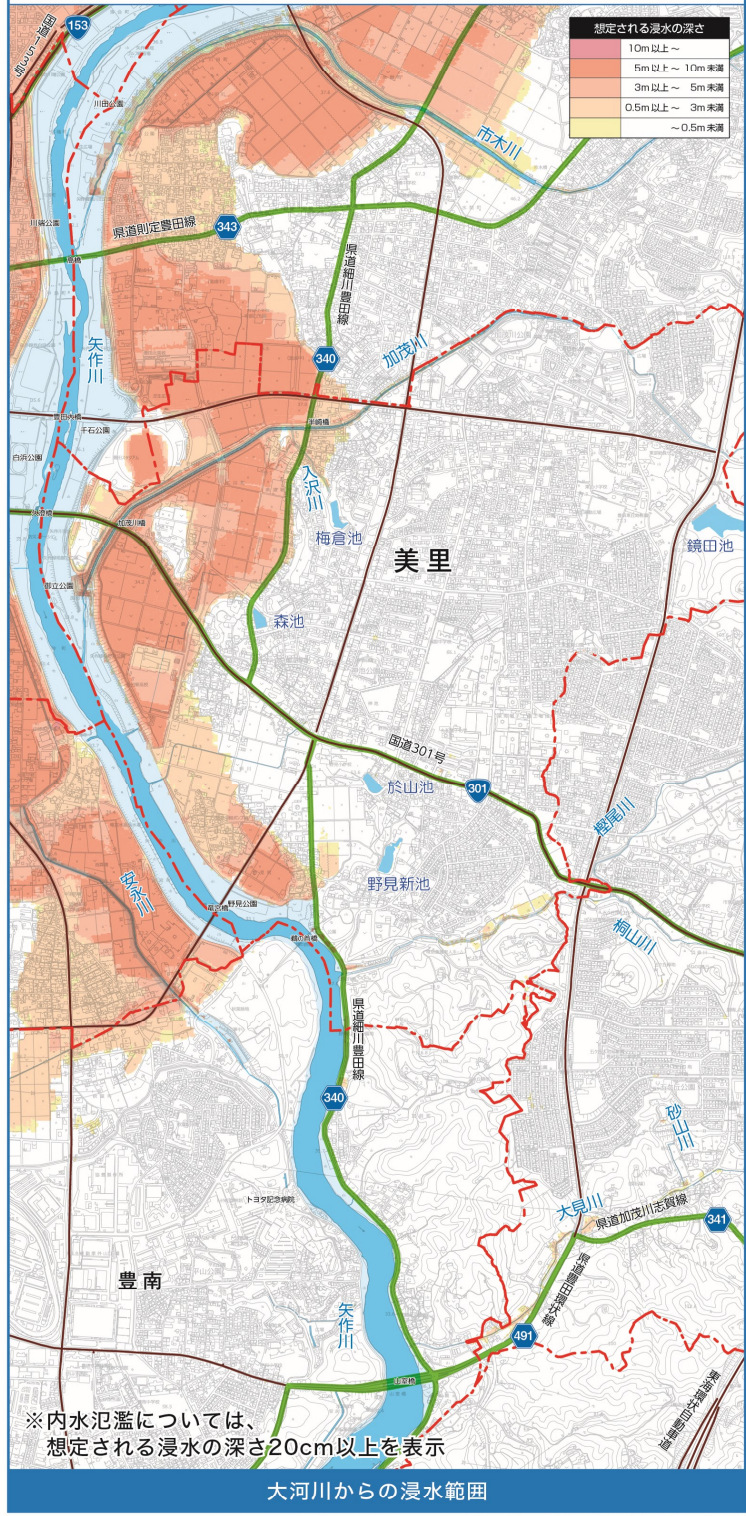
#### 土砂災害

大雨に伴って、山の斜面やけが崩れる「がけ崩れ」、緩やかな斜面が地下水の影響などでゆくゆくと崩れていく「地すべり」、崩れた土砂が雨水や川の水と混じって流れ、家屋、道路、農地が土砂で埋まる「土石流」などが発生する災害です。

### ③ さらに雨が強くなる・浸水のさらなる広がり (猛烈な雨が降り続く)

150年に1回の確率で発生する規模の大雨

**【浸水状況】**  
矢作川の水位が上がり、堤防から水があふれるなど、さらに広い範囲で浸水被害が発生する。



#### 土砂災害警戒区域(通称イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民の生命や身体に、危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

#### 土砂災害特別警戒区域(通称レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。